

調平正

ボランティア
で医療活動を
展開している
AMDA(ア
ジア医師連絡

協議会)の本部は岡山にある。阪神・淡路大震災が起きたその深夜、AMDA医師団の六人は大渋滞の国道を縫い神戸市長田区に到着した。県外から被災地入りした最初の医師団だった◆夜を徹した救援活動が始まった。

御蔵小学校では、翌朝五時までに一人百例を超える縫合手術を行った。被災者たちは、黙々と治療に当たる医師が岡山から来たと知るのは、しばらく経ってからである。隣接県からの即座の救援に感動した◆震災に際し岡山の反応は素早かった。済生会の瀬戸内海巡回診療船「済生丸」も「目的外使用」を承知で、神戸港の新港第三突堤に急行した。医療班員延べ五百二十四人、四十一日間にわたり三千百七十四人を治療した◆そんな岡山の救援活動の全記録をまとめた「阪神大震災と市民ボランティア—岡山からの証言と提言」(山陽新聞社刊)が出版された。

むろん医療活動だけではない。市民グループ、大半の自治体…いわば岡山県あげての活動が克明に記されている◆恐らく岡山の救援活動は、質量共に一頭地を抜いていただろう。巻末に収録された山陽新聞の震災関連見出しのポリウムに圧倒される。「隣人だから」と多くの人が話していた。頭が下がる。あらためて隣接府県同士の連携の大切さを思う◆岡山をNGOの国際拠点にするとの運動がある。「国際貢献トピア岡山構想」と言い「西のジュネーブ、東の岡山」が合言葉だ。人道主義を標榜する「隣人」に声援をお返しすると共に、多くを学びたい。